

区分のあった明代の南宗画人にくらべ、その差が判然としなくなった清代の絵画界の趨勢を考慮すべきであろう。

記し残したので付言すれば、画面右下に「錢杜印信」の一印がある。この位置は画憶が、

画角印、須施之山石実処、

いうに合致するが、左下の「朱九日読画記」なる鑑蔵印は、流水の上に捺され、錢杜の意にそわぬものである。朱氏が如何なる人か知るところがない。大方の御教示を請う。

(戸田禎佑)

図版要項

一 錢杜筆 虞山草堂步月図 部分(原色刷) 大阪市立美術館蔵

紙本彩色 縦一三八・二種 横五三・一種

二 同 全図

一・二 戸田禎佑 図版解説「錢杜筆 虞山草堂步月図」参照

三 堀江物語絵巻 部分 三重 古森収蔵氏蔵

紙本着色 縦三三・八種

四 山中常盤絵巻 卷十部分 静岡 熱海美術館蔵

紙本着色 縦三四・二種

五 a 岩佐又兵衛筆 官女観菊図 部分 大阪 細見亮市氏蔵

紙本着色 縦五九・四種 横三八・五種

b 山中常盤絵巻 卷四部分 静岡 熱海美術館蔵

紙本着色 縦三四・二種

三一五 辻惟雄「岩佐又兵衛の作画範囲」参照

六 a トルファン出土彩画紙片 II a 愛知 橘 瑞超氏蔵

紙本着色 縦二二・七種 横二〇・〇種

b 同 II b 同

紙本着色 縦最大三〇・〇種

六 上野アキ 研究資料「トルファン出土彩画紙片について」参照

美術研究所報

研究会

昭和三十八年

四月二十四日 絵解きの伝統と現存例 秋山 光和

——道成寺と本法寺——

五月 八日 カンボジアの彫刻 高田 修

西本願寺本三十六人集料紙裝飾の一整理

六月 五日 台密の両界曼荼羅 江上 綏

六月 十九日 中尊寺の彫刻 高田 修

七月 三日 西域仏寺の伽藍配置について 久野 健

七月 二十四日 渡唐天神論 熊谷 宣夫

九月 十一日 アフガニスタンの古美術 田中 一松

九月 十八日 明清展の絵画 高田 修

九月 二十七日 明清展の陶磁 川上 涇

中川 千咲